

仕様

構造図

アイエス式F号ボールタップ専用 サブマリンフロート式パイロットバルブ

取扱説明書

型番：PVSFN13・20 PVSFN13L・20L

呼び径：13・20mm

ご使用前に必ずお読みください

この度は、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。品質につきましては万全を期しておりますが、より安全かつ安定した作動を確保するために、この取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。

●本製品は、弊社製品『F号ボールタップ（定水位弁）』専用のパイロットバルブです。ボールタップ単独としてのご使用や、その他の目的でのご使用はお控えください。

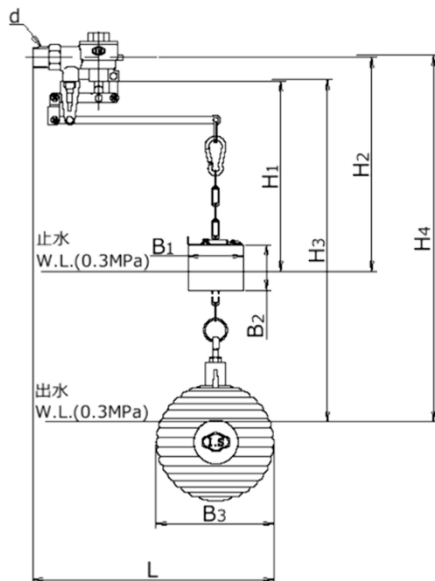
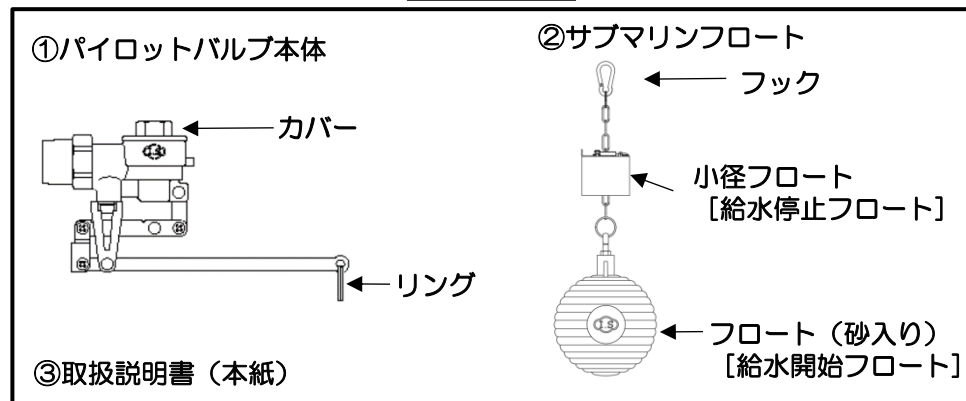
●必ず、本製品に対応した呼び径のF号ボールタップ（定水位弁）との組み合わせでご使用下さい。

- ・PVSFN13・20：F号ボールタップ対応呼び径 25～100（FSV80BC、FSV100BCも使用可能です）
- ・PVSFN13L・20L：F号ボールタップ対応呼び径 125～200

●付属品以外の部品のご使用や、本製品の改造はお控えください。

●本説明書の記載とは異なる方法でご使用、または製品の仕様を逸脱する条件におけるご使用により発生した損害につきまして、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

梱包内容



- 日本水道協会認証品
- 本体材質：CAC902
- 適用圧力：0.1～0.75MPa
- 適用流体：上水道水
- 使用温度：常温
- 接続：ねじ込み式
- フロート材質：ポリエチレン

●小径フロート材質：ポリプロピレン



小径フロートは上の断面図のように2種類の材料で構成されています

- (外部) 発泡ポリエチレン
- (内部)

寸法表

(単位:mm)

記号\型番	PVSFN13	PVSFN20	PVSFN13L	PVSFN20L
d	R1/2	R3/4	R1/2	R3/4
L	240	242	242	244
H1	145~875 (★最小値120)	145~875 (★最小値120)		
H2	169~899 (★最小値144)	171~901 (★最小値146)		
H3	250~1005	250~1010	250~1010	
H4	274~1029	274~1034	276~1036	
出水・止水位の差	130~860	130~865	130~865	
B1	Φ55		Φ55	
B2	45		45	
B3	Φ118		Φ118	
製品質量(Kg)	1.5	1.6	1.7	1.8

(★最小値)に設定して使用する場合は、本紙中面の「吐水口空間を特に小さくしたいとき」をご参照ください。

- ※H1、H2、H3、H4は静水圧：0.3MPaの数値です。
- ※H1、H2の数値は、止水位置の調整範囲の数値です。
- ※H3、H4の数値は、出水位置の調整範囲の数値です。
- ※取付ねじはテーパねじです。

※この製品についてのお問い合わせは下記までご連絡ください。
※製品の仕様は予告なく変更されることがありますのでご了承ください。



株式会社 アイエス互業所

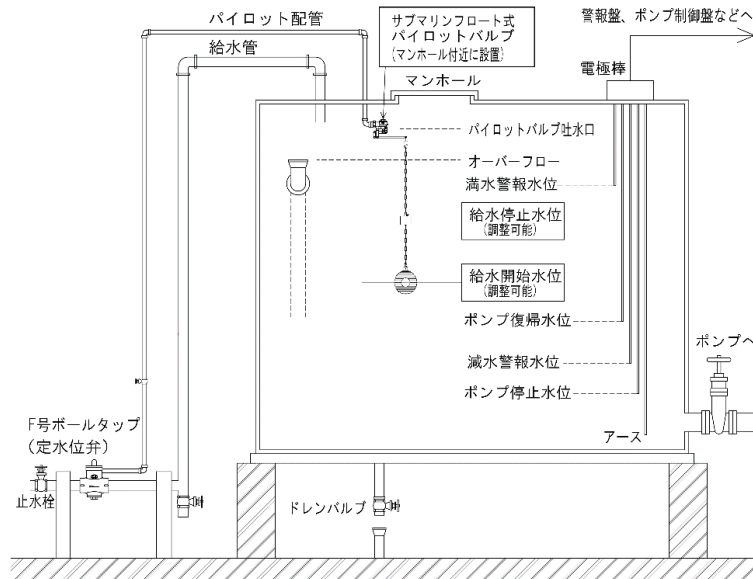
〒536-0013 大阪市城東区鳴野東3丁目5番13号
TEL: 06-6961-2488(代表) FAX: 06-6961-7326 E-mail: info@is-jp.com



PC・スマートフォン・タブレット端末対応
製品図面・取扱説明書のダウンロードはこちら
<https://www.is-jp.com>



設置例



本体取付時の注意事項

- 取付前に、パイロット配管を十分にブローして、内部の異物を洗い流してください。また、配管がしっかり固定され、劣化等の問題がないことを確認してください。配管に問題が見られる場合は、予め更新してください。
- 取付はメンテナンスのしやすいよう、マンホールに近い場所を選んでください。
- 取付の際、本体のレバー部分に手や工具類を掛けないでください。(図1参照) 大きな力がかかるとレバー部分が変形し、作動不良の原因となります。
- パイロット配管への取付は、サブマリンフロートを取り外した状態で行ってください。
- 水平・垂直となるように取付をしてください。(図2参照)
- サブマリンフロートの位置は、給水管の吐水口より1m以上離してください。給水の勢いにフロートが巻き込まれると、正常に動作しないことがあります。(図3参照)

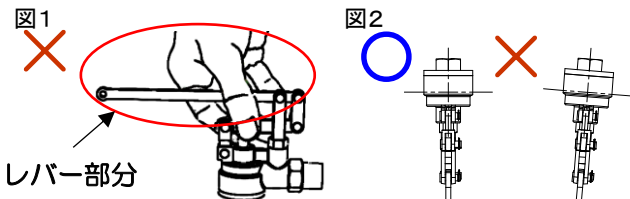
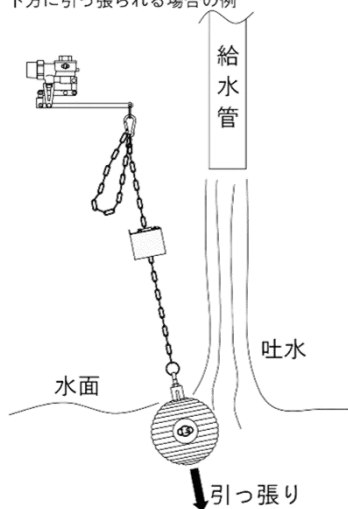


図3
吐水に巻き込まれてフロートが下方に引っ張られる場合の例



水位調整およびサブマリンフロート取付時の注意事項

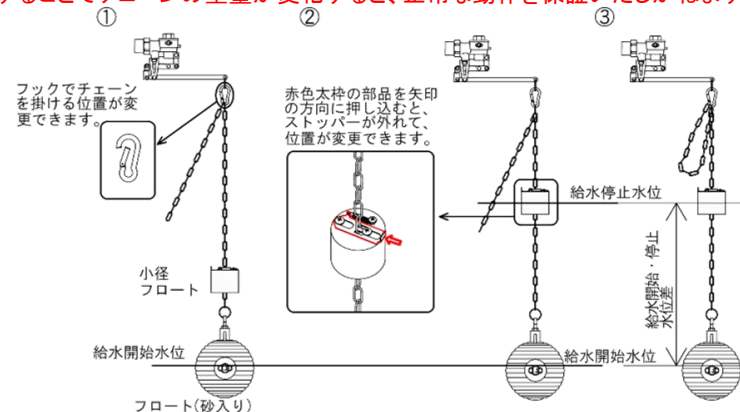
- 水位調整は、サブマリンフロートを本体から取り外した状態で行ってください。
- 必ず作業前に、電極棒等により設定されている満水警報水位、減水警報水位、ポンプ停止・復帰水位を確認してください。水位調整の作業時は、各種警報位との位置関係を確認しながら調整を行ってください。
- 作業中、水槽内に部品が落下しないように十分に注意してください。

給水停止水位・給水開始水位の調整方法

- 給水開始位置を設定します。チェーンの適当な位置にフックに引っかけて固定します。フロート(砂入り)の中心位置から10mm程度上方(※)が給水開始位置となります。
- 給水停止位置を設定します。小径フロートの固定位置を設定します。小径フロートの中心位置(※)が給水停止水位となります。
- 余ったチェーンをフックに引っかけて固定します。

※ 給水開始・停止水位は静水圧0.3MPa時の目安です。水圧・水量等の使用条件によって給水開始・停止水位が変動します。

注意: チェーンは絶対に切断しないでください。
切断することでチェーンの重量が変化すると、正常な動作を保証いたしかねます。

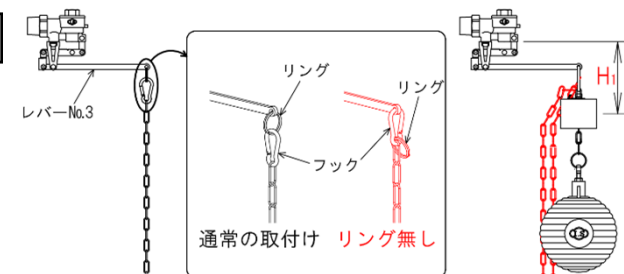


F号ボールタップから水が止まらない、水が出ない、ウォータハンマを起こすなどの場合は、F号ボールタップの取扱説明書をご参照の上、調整を行ってください。
F号ボールタップの調整を行っても正常に動作しない場合は、弊社までお問い合わせください。

吐水口空間を特に小さくしたいとき

リングを使用せずにレバー№3の先端のばねフックを直接取り付けることにより、吐水口空間を小さくした状態で使用できます。このとき吐水口空間H1(本体下端から止水位までの)最小値が120となります。

注意: 余ったチェーンおよびリングはフックに引っかけて使用してください。チェーンを切断しないでください。

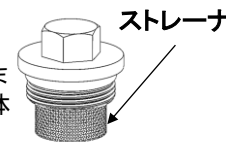


リング無しで使用の例

本製品の清掃方法

本製品を万全の状態でお使いいただくため、定期的に清掃を行ってください。

- パイロットバルブ本体を配管から取り外してください。
- モンキーレンチ等でカバーを取り外します。カバーおよび本体内部のばねが勢いよく飛び出す場合がありますので注意してください。
- ストレーナのゴミ、汚れ等を除去した後、水で洗浄してください。また、カバーの取付け口から、本体内部を水で洗浄してください。



- 清掃が終わりましたら、カバーをねじ込み、十分に締め付けて、パイロットバルブ本体を配管に取り付けてください。

注意: カバーねじ込み時はまっすぐ挿入してください。斜めに挿入すると、部品が破損する場合があります。

